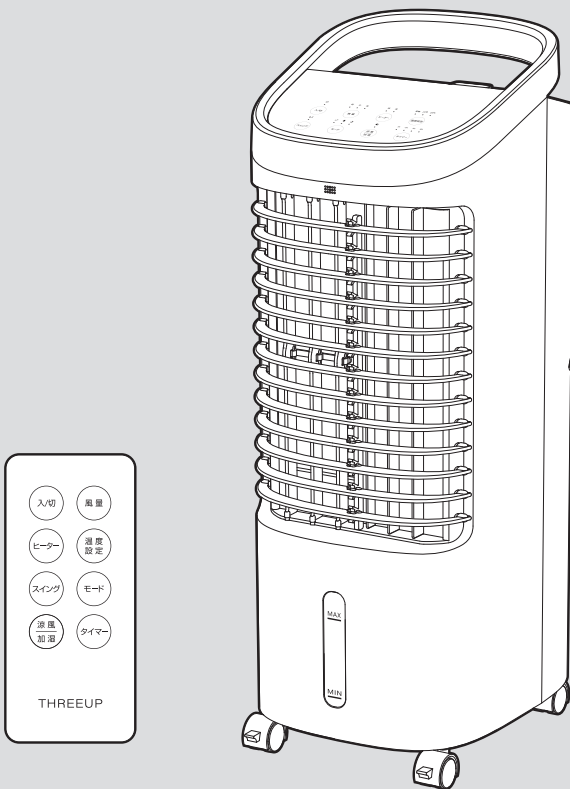


THREEUP

温冷風扇「ヒート&クール」

HC-T2334

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	4~5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

ご使用の前に

キャスターを取り付ける	6
設置について	6~7
リモコンについて	7
保冷タンクについて	7

ご使用方法

運転する(送風モード)	8
風量を切り替える	8
停止する	9
乾燥モードを使う	9
風向きを変える	10
オフタイマーを使う	10
自然風モードを使う	11
おやすみモードを使う	12
温風モードを使う	12~13
温度設定を使う	13
涼風/加湿モードを使う	14~15

点検・修理

お手入れと保管方法	16~17
製品や保冷タンクの廃棄について	18
故障かな?と思ったら	18
長期使用製品についてのご注意	18
保証・サービス	裏表紙

はじめに







安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
温風モード使用時、過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

風を長時間、直接身体に当て続けしないでください。

温風モードを使用する場合は、長時間、身体と同じ部位を温め続けしないでください。
健康を害する原因になります。
また、温風を当て続けると、やけどや低温やけどの原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

警告



禁止

温風モードの使用時、運転停止直後はルーバーに触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置距離について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る



必ず守る

⚠ 注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。
落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。
転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

エアフィルターと吸水フィルターを取り外した状態で運転しないでください。
本体内部にホコリがたまり、モーターの過熱や水の飛散による漏電や故障、水漏れの原因になります。

送風口や吸気口をふさがしないでください。
衣類やカーテンなどで送風口や吸気口、がふさがれると、故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

キッチンや工場などの油がはねる場所や、油煙が発生する場所では使用しないでください。
故障の原因になります。

付属の保冷タンクは、本機での使用以外の目的では使用しないでください。

運転中は本体を移動させないでください。
・運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンク内部の水を捨ててから移動してください。
・排水のために移動する際は、水タンク内部の水がこぼれないよう、慎重に移動させてください。
水が入ったまま本体を強く揺らすと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。
テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。



禁止



禁止



必ず守る

水タンクの中には水道水や氷以外のものを入れないでください。

- ・一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- ・満水ライン「MAX」を超えて水を入れないでください。水がこぼれて床を濡らす原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- ・電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- ・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

水タンクの水は2~3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

2~3日を目安に新しい水と入れ替えてください。
水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。
長時間ご使用にならない場合や保管する際は、必ず水を捨てて、十分に乾かしてください。

涼風モード運転で氷を使う場合は、必ず水タンクに水を入れてください。

本体に結露が起きて感電や故障、床を濡らす原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



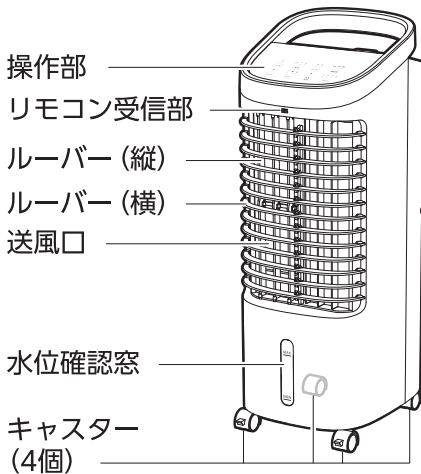
接触禁止

送風口や吸気口、可動部に指を入れないでください。ケガの原因になります。

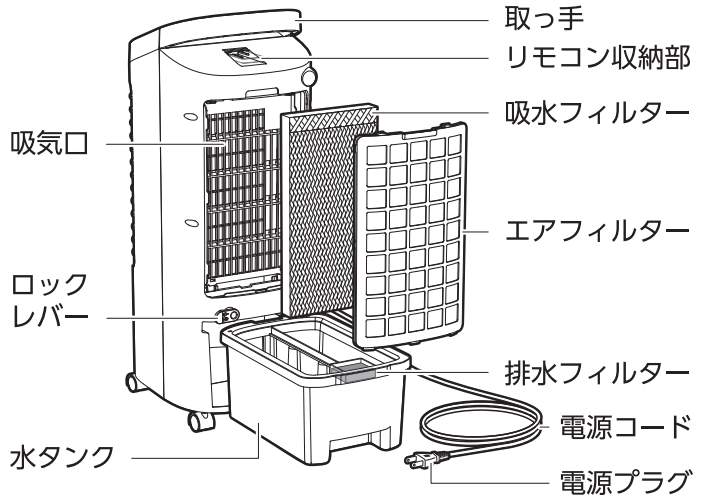
各部のなまえ

■ 本体

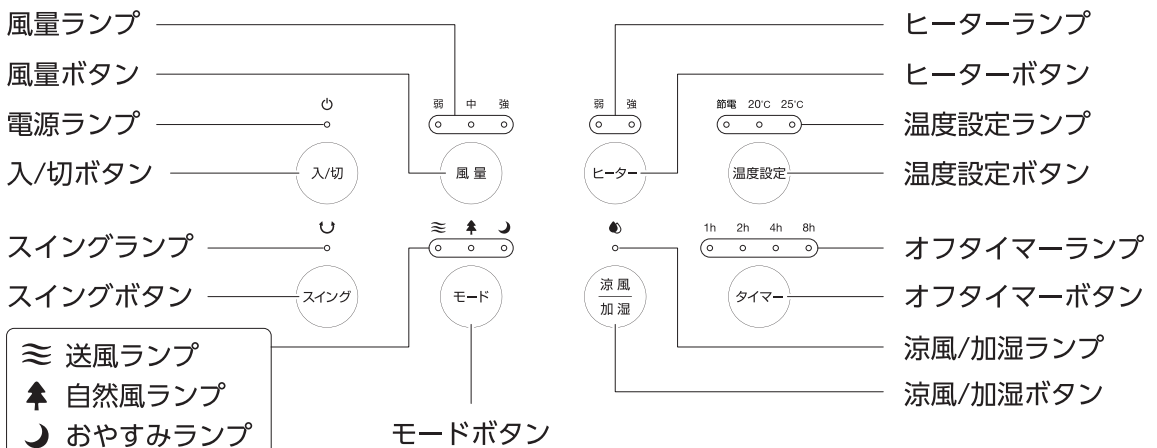
正面



背面



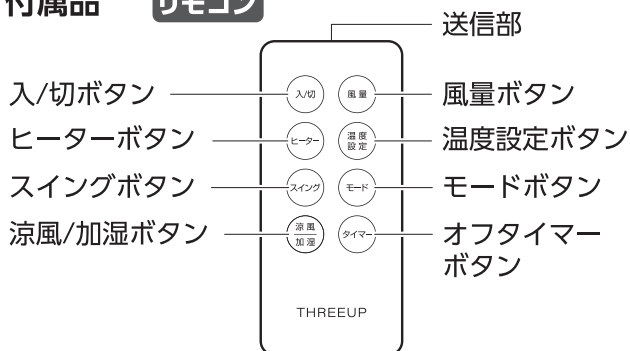
操作部



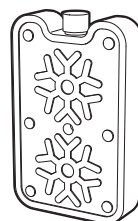
はじめに

■ 付属品

リモコン



保冷タンク



保冷タンクの品質表示

タンク材質	ポリエチレン
内容物	水、吸水性ポリマー

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	リモコン (CR2032電池内蔵)	1
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	保冷タンク	1
キャスター (内2個ストッパー付)	4	—	—

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価 (税込)
吸水フィルター	1	1,650 円
保冷タンク	1	880 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅25×奥行31×高さ69cm	本体重量	約6.1kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	涼風モード時/65W、ヒーター (強) /1200W、ヒーター (弱) /800W		
風量	3段階 ※ヒーター使用時は1段階	オフタイマー	1・2・4・8時間
首振り	左右80° (自動)、上下35° (手動)		
運転モード	ヒーター /2段階切替、温度設定、送風モード、自然風モード、おやすみモード、涼風/加湿モード、乾燥モード、節電モード		
水タンク容量	最大4.2L	加湿方式	気化式
コード長	約1.5m		
1時間あたりの電気代	約2.02円 (涼風モード運転時)、約37.2円 (ヒーター「強」連続運転時)		
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

ご使用の前に

キャスターを取り付ける

警告



必ず守る

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。故障や事故の原因になります。

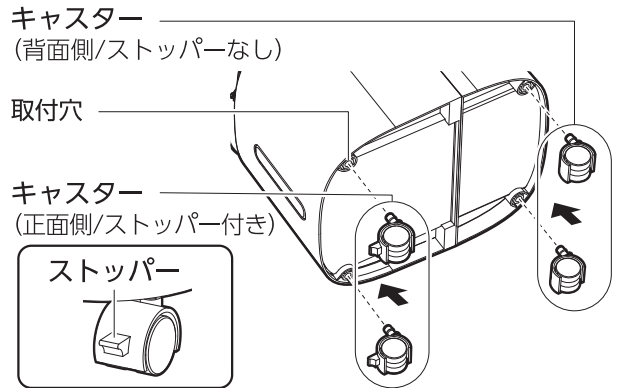
- ① 毛布などの上に本体を寝かせます。
- ② 本体底面の取付穴にキャスターをしっかりと押し込みます。
 - 取り付けの際は真っ直ぐキャスターを押し込んでください。無理な角度で押し込むと、取付穴が破損するおそれがあります。
 - ストッパー付きのキャスター 2個を正面側に取り付けてください。
- ③ 本体を起こして、水平で安定している場所に設置します。

注意



必ず守る

キャスターは必ず取り付けてください。取り付けないで使用すると本体が不安定になり、転倒したり、床を傷つけたりする原因になります。



設置について

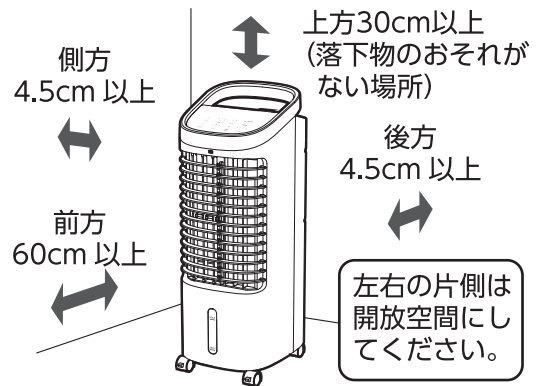
■ 設置距離

警告



必ず守る

- 右図の設置距離を必ずお守りください。
- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
 - カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
 - 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



■ キャスターのストッパー機能について

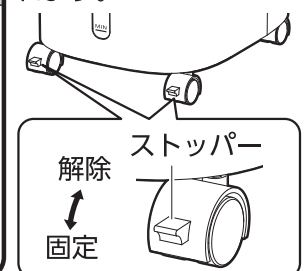
注意



必ず守る

- 設置時は必ずキャスターのストッパーで固定してください。
- 本体の底面には移動用のキャスターが付いており、正面側のキャスターにはストッパー機能があります。ストッパーで固定しないで設置したり、斜面に設置したりすると、予期せぬ移動により家財などを破損する原因になります。
 - 不安定な場所への設置や本体が傾いた状態でのご使用は、転倒や水漏れ、誤検知により水がなくなったことのお知らせするブザーが鳴るなどの原因になります。

ストッパーを下げると固定され、上げると解除されます。

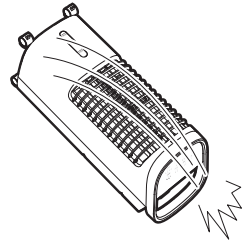


ご使用の前に

■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- ・転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続き使用する場合は、水平な床面にもう一度設置して『入/切』ボタンを押してください。
- ・本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動して、自動的にヒーターが停止し、送風のみになります。

少し時間をおいて温度が下がれば、自動的にヒーター運転が再開されます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

リモコンについて

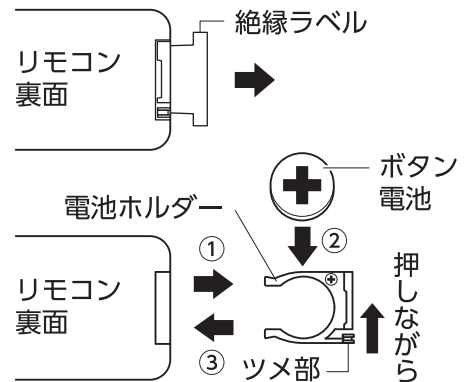
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032/3V」です。

- ①リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ②新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

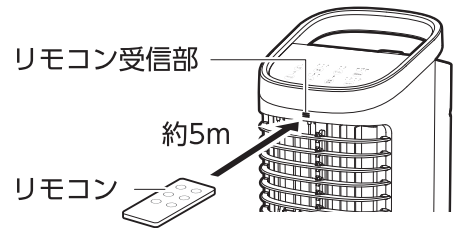


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

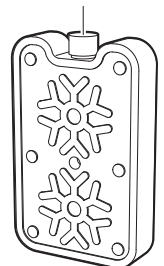


保冷タンクについて

涼風モードで保冷タンクを使う場合は、冷凍庫に入れて凍らせてください。

保冷タンクは繰り返し使用できます。

キャップ



⚠ 注意



必ず守る

保冷タンクのキャップは絶対に外さないでください。

- ・皮膚に付いた場合は、すぐに石けんと水で洗い流してください。
- ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

ご使用方法

運転する(送風モード)

警告



必ず守る

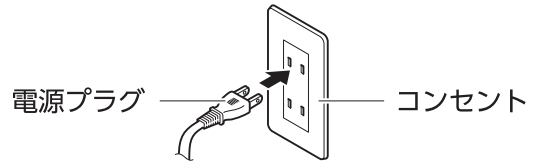
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
ショートによる火災・感電の原因になります。



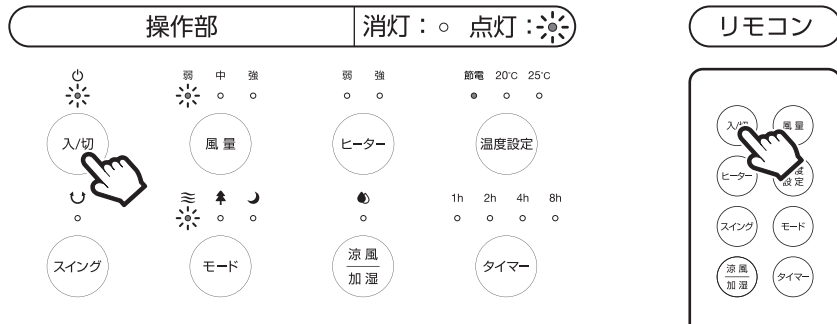
禁止

電源コードを束ねたまま使用しないでください。
過熱してやけどや火災の原因になります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込むと“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
『電源』ランプと『送風』ランプ、『風量』ランプ「弱」が点灯し、風量「弱」で送風運転を開始します。
- ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - お好みで風量の設定、自然風モード、おやすみモード、涼風/加湿モード、オフタイマー設定、温風モード、温度設定、スイング運転をご使用ください。

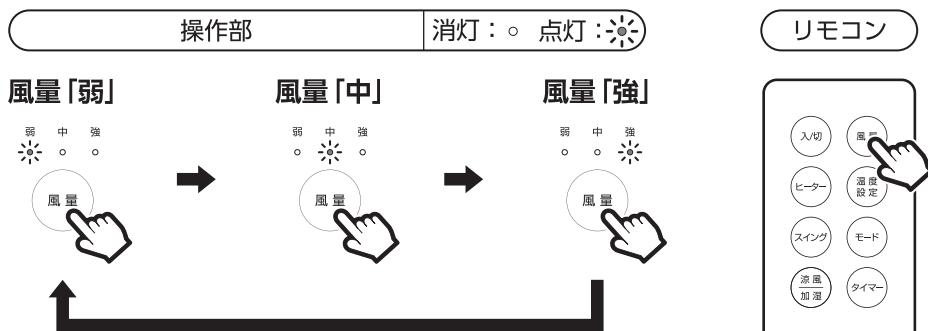


減灯機能

操作しない状態が約1分間続くと、操作部のランプは減灯します。

風量を切り替える

送風運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。
『風量』ボタンを押すごとに風量が切り替わり、風量の設定にあわせて『風量』ランプが点灯します。



ご使用方法

停止する

運転中に本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、運転を停止します。

メモ 温風モード運転の停止後は、内部冷却のため約10秒間送風運転を行います。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転します。
(オフタイマー設定、自然風モード、おやすみモード、乾燥モードは除く)
初めてご使用になるときや電源プラグを接続し直したときは、風量「弱」で送風運転を開始します。

注意



必ず守る

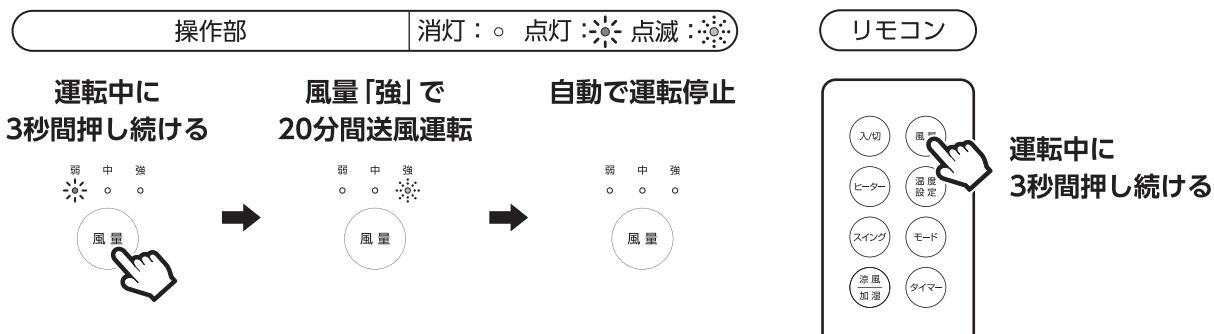
長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜く場合は、必ず先に『入/切』ボタンを押して運転を停止させてください。
温風モード運転の停止後は、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。
運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

乾燥モードを使う

保管前など、吸水フィルターを乾かしたいときに使う補助的な機能です。

■ 乾燥モードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを3秒間押し続けます。
『風量』ランプ「強」が点滅し、風量「強」で20分間送風運転します。
乾燥モード終了後は自動的に運転を停止します。



■ 乾燥モードを解除する

乾燥モード運転中に解除する場合は、本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押すと運転を停止します。

メモ 乾燥モード運転中は、本体とリモコンの『入/切』ボタン以外は操作できません。

風向きを変える

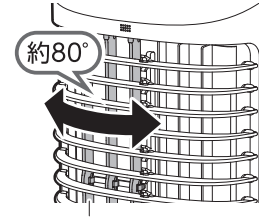
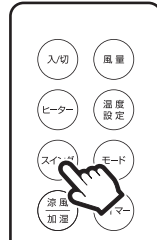
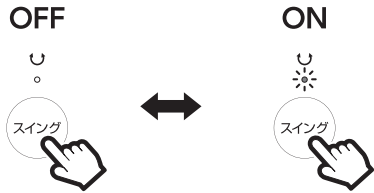
■ 左右方向の風向きを変える (スイング運転)

運転中に本体またはリモコンの『スイング』ボタンを押します。
『スイング』ランプが点灯し、ルーバー (縦) が左右方向に約80° (左右40°) の範囲で可動します。
スイング運転を解除する場合は、もう一度『スイング』ボタンを押します。
『スイング』ランプが消灯して、ルーバー (縦) が停止します。

操作部 消灯：○ 点灯：☀

リモコン

ルーバー (縦) の可動

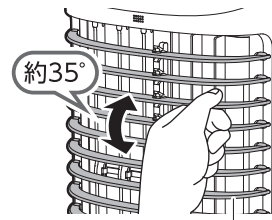


ルーバー (縦)

■ 上下方向の風向きを変える

指先でルーバー (横) をつまみ、上下方向に動かします。
上下方向に約35° (上25°、下10°) の範囲で可動します。
ルーバー (横) は1枚を操作すると全て同時に可動します。

ルーバー (横) の可動



ルーバー (横)

オフタイマーを使う

■ オフタイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押します。
『オフタイマー』ボタンを押すごとに設定時間が切り替わり、設定時間にあわせて『オフタイマー』ランプが点灯します。
1、2、4、8時間で設定できます。

■ オフタイマーを解除する

『オフタイマー』ランプが消灯するまで、本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを繰り返し押します。

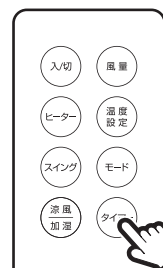
⚠ 警告

❗ 必ず守る

外出時や就寝時は、必ず運転を停止してください。
事故や火災の原因になります。
オフタイマーを設定して運転させた状態で、外出や就寝はしないでください。

操作部 消灯：○ 点灯：☀

リモコン



メモ オフタイマー設定後は、時間が経過するごとに『オフタイマー』ランプの点灯位置が変わり、残り時間を表示します。

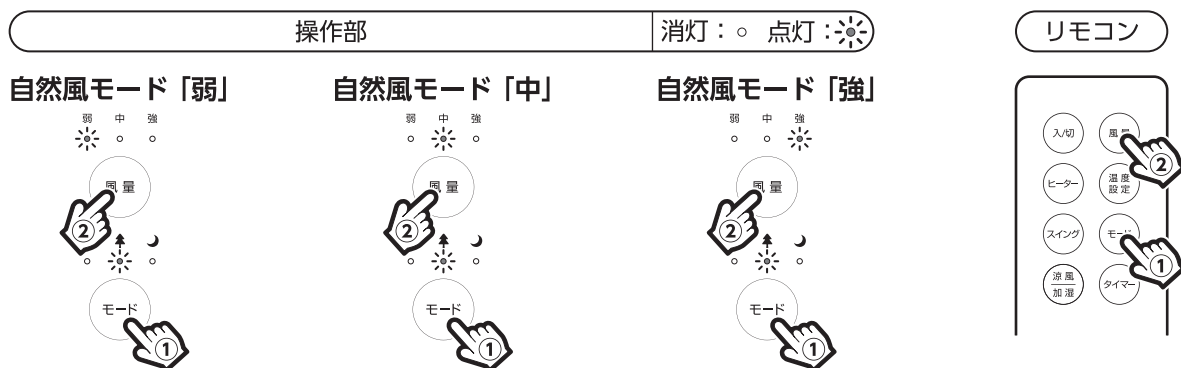
ご使用方法

自然風モードを使う

- 時間毎に風量「強」、「中」、「弱」、「停止」がプログラムされた順序で風量が切り替わり、自然のそよ風をイメージした心地よい風で送風します。
- 風量の設定により、自然風モード「強」、「中」、「弱」の3段階の設定が可能です。
モード動作の詳細は、下記の「自然風モード動作の風量制御」をご確認ください。
- オフタイマー設定、スイング運転、涼風モードと組み合わせて使うことができます。

■ 自然風モードを設定する

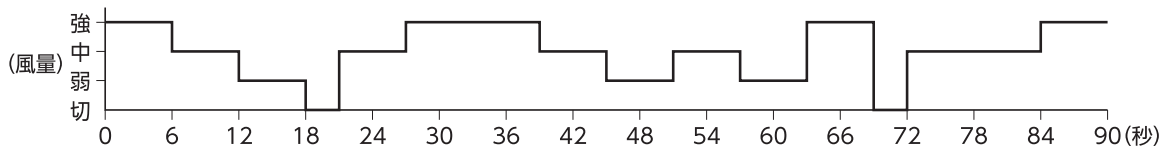
- ① 運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押して『自然風』ランプを点灯させ、自然風モード運転を開始します。
- ② 本体またはリモコンの『風量』ボタンを押して、お好みの自然風モード動作になる風量を設定します。



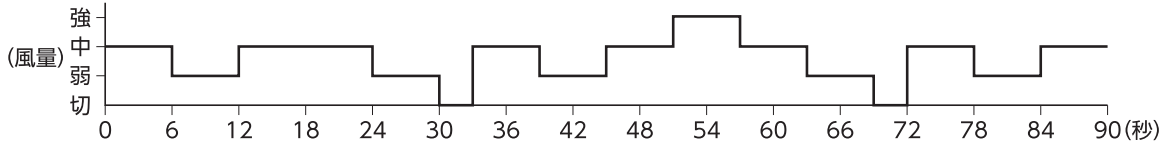
■ 自然風モード動作の風量制御

下記の動作を繰り返します。

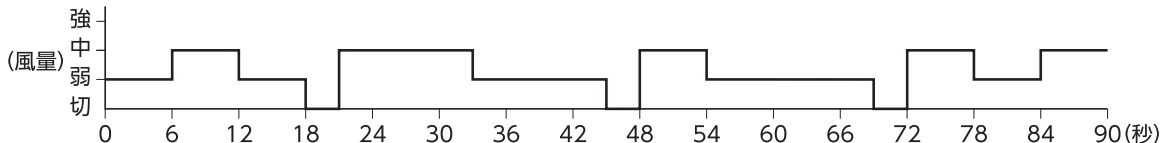
- 自然風モード「強」…(風量設定「強」)



- 自然風モード「中」…(風量設定「中」)



- 自然風モード「弱」…(風量設定「弱」)



おやすみモードを使う

- 時間毎に風量「強」、「中」、「弱」、「停止」がプログラムされた順序で風量が切り替わり、就寝時に心地よい風で送風します。
- 風量の設定により、おやすみモード「強」、「中」、「弱」の3段階の設定が可能です。モード動作の詳細は、下記の「おやすみモード動作の風量制御」をご確認ください。
- オフタイマー設定、スイング運転、涼風モードと組み合わせて使うことができます。

■ おやすみモードを設定する

- ① 運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押して『おやすみ』ランプを点灯させ、おやすみモード運転を開始します。
- ② 本体またはリモコンの『風量』ボタンを押して、お好みのおやすみモード動作になる風量を設定します。



■ おやすみモード動作の風量制御

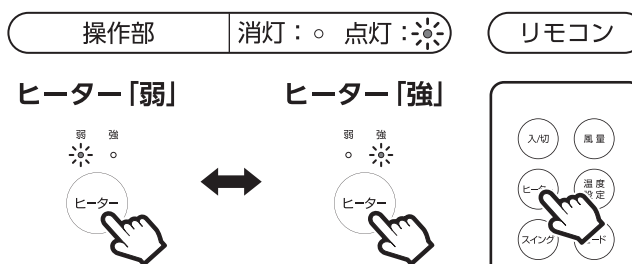
- おやすみモード「強」… (風量設定「強」)
自然風モード「強」で30分間運転→自然風モード「中」で30分間運転→自然風モード「弱」で連続運転します。
- おやすみモード「中」… (風量設定「中」)
自然風モード「中」で30分間運転→自然風モード「弱」で連続運転します。
- おやすみモード「弱」… (風量設定「弱」)
自然風モード「弱」で連続運転します。

メモ おやすみモードの「弱」と自然風モードの「弱」は同じ動作になります。

温風モードを使う

■ 温風モードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。『ヒーター』ボタンを押すごとにヒーターの強さが切り替わり、ヒーターの設定にあわせて『ヒーター』ランプが点灯します。



ご使用方法

■ 温風モードを解除する

本体またはリモコンの『風量』ボタンまたは『モード』ボタンを押すと、『ヒーター』ランプが消灯し、送風運転に切り替わります。

メモ 温風モードと送風運転の切り替え時は、ヒーターユニットを移動させて切り替えを行うため、約20~30秒かかります。

温度設定を使う

温度設定中は本体の周囲温度にあわせて、自動的に温風モードの運転/停止を行います。

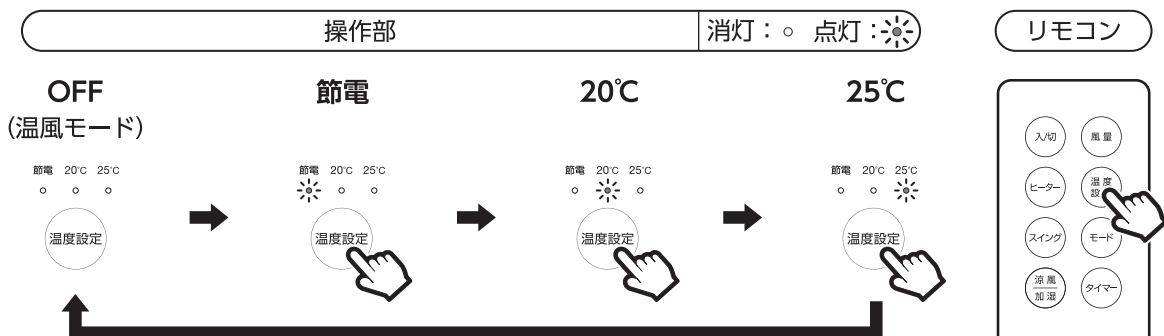
※本体の周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。

■ 温度設定を切り替える

運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。

『温度設定』ボタンを押すごとに節電モード、20℃設定、25℃設定の順に切り替わり、設定にあわせて『温度設定』ランプが点灯します。

温度設定を解除する場合は、『温度設定』ランプが消灯するまで、本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押してください。『温度設定』ランプが消灯して、温風モード運転に切り替わります。



■ 節電モードの動作内容

本体の周囲温度にあわせて、次のように自動で動作が切り替わります。



■ 20° 設定と25° 設定の動作内容

- 本体の周囲温度が設定温度になるまで、設定したヒーターの強さで運転します。
- 本体の周囲温度が設定温度以上になると、『温度設定』ランプと『ヒーター』ランプが点滅して運転を停止します。
 - スイング運転時は、『スイング』ランプも点滅します。
 - 加湿運転時は、『加湿/涼風』ランプも点滅します。
 - オフタイマー設定時は、『オフタイマー』ランプは点灯したままになります。
- 本体の周囲温度が設定温度から2℃下がると、設定したヒーターの強さで温風モード運転を再開します。

涼風/加湿モードを使う

涼風/加湿モードを使う前に

ご使用前に水タンクに水(涼風モードの場合は氷または保冷タンクを含む)を入れてください。

※送風運転または温風モードで使用する場合は給水不要です。

※水が入っていない状態で涼風/加湿モードを設定すると、「ゴロゴロ」とポンプの回る音がしますが、異常や故障ではありません。

涼風モードについて

- 自然でひんやりとした心地よい風を送風します。
水とあわせて氷または保冷タンクを入れると、涼風効果が高まります。
- 換気のよい窓やドアの近く、直射日光の当たらない場所で使用するとより効果的です。
- エアコンの補助用として使用すると、効率よく部屋全体に風を送ることができます。

※本製品はコンプレッサーで冷却するエアコンとは異なり、水の気化熱を利用して運転するため、部屋全体を冷やすことはできません。

加湿モードについて

水を浸透させた吸水フィルターを通った風をヒーターで温め、気化させながら加湿します。

警告



必ず守る

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
また、電源プラグと電源コードを濡らさないように注意してください。
感電の原因になります。

- ③ 氷または保冷タンクを水タンクに入れます。(涼風モード時のみ)

氷または保冷タンクを使わない場合は、④へお進みください。

注意



必ず守る

氷と保冷タンクは必ず下図の下側に入れてください。
「吸水ポンプ収納部」に入れると吸水ポンプに氷または保冷タンクが引っかかり、水タンクが取り出せなくなる場合があります。



禁止

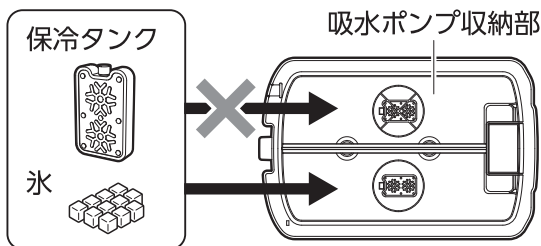
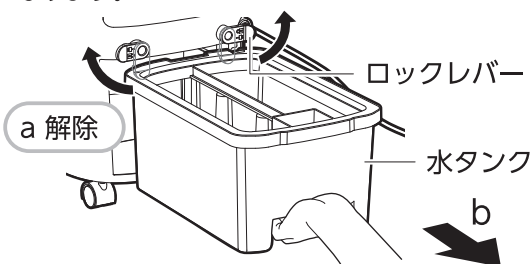
氷を入れすぎないでください。
水タンクに結露が起き、床を濡らすおそれがあります。
本体の下にトレイなどを敷いて使用してください。
※トレイは付属していません。

■ 水タンクに水や氷、保冷タンクを入れる

- ① 保冷タンクを使う場合は、先に冷凍庫に入れて凍らせます。(涼風モード時のみ)
- ② 本体背面から水タンクを取り出します。
 - a. 両側のロックレバーを外側に起こして、水タンクの固定を解除してください。
 - b. 水タンクを取り出してください。

注意

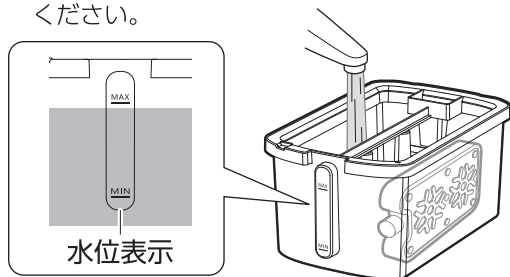
水が入った状態で水タンクを出し入れするときには、水タンクを水平にして、まっすぐ、ゆっくりと出し入れしてください。
勢いよく出し入れすると、水がこぼれる原因になります。



ご使用方法

④ 水タンクの水位表示を確認しながら、水道水を入れます。

- 水タンクの最大容量は4.2Lです。
- 「MAX」ラインを超えて水を入れすぎないでください。

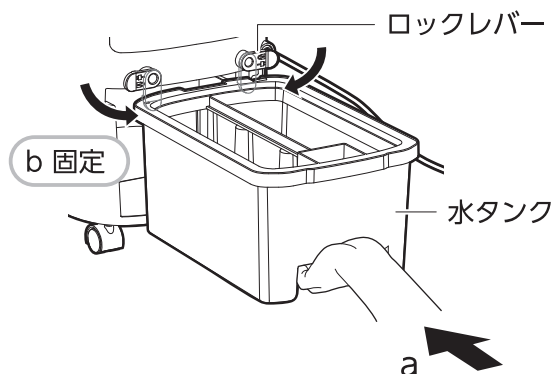


メモ

水タンクに水を入れたあとに氷または保冷タンクを入れる場合は、水位表示の「MAX」ラインを超えないように排水してから、氷または保冷タンクを入れてください。

⑤ 水タンクを本体に取り付けます。

- 水タンクを取り付けてください。
- 両側のロックレバーを内側に倒して、水タンクを必ず固定してください。



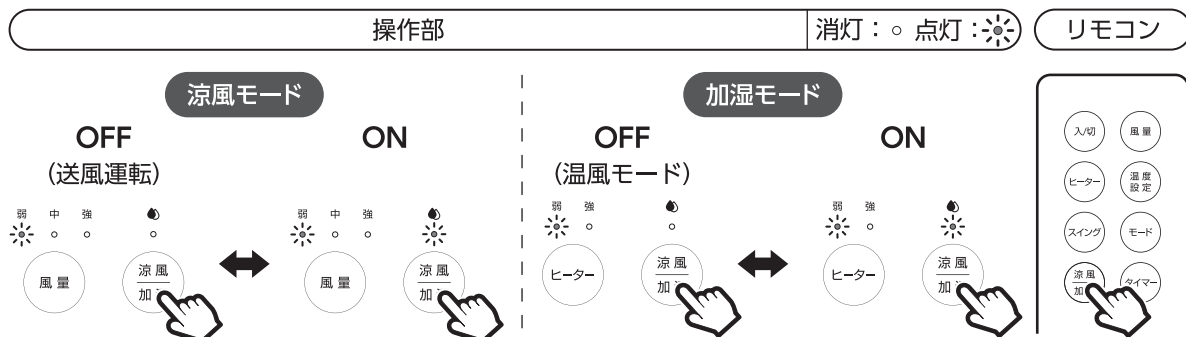
注意

水タンクに水を注ぎ足す際や排水する際に水タンクを引き出すと、水路に残った水が吸水ポンプより流れ出てきます。流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床がぬれる原因になります。

■ 涼風/加湿モードを設定する

送風運転中または温風モード中に本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押します。『涼風/加湿』ランプが点灯して、涼風/加湿モードに切り替わります。

- 涼風時の風量や加湿時のヒーターの強さは、お好みでお選びください。
- 涼風/加湿モードを解除する場合は、もう一度本体またはリモコンの『涼風/加湿』ボタンを押してください。
- 涼風/加湿モードのご使用時は、水を吸い上げるためのポンプが作動しているため、水を吸い上げる音（キュルキュル音、キュー音）がします。不良や異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 水タンクに水が入っていない時に『涼風/加湿』ボタンを押すと、約50秒後に『涼風/加湿』ランプが消灯し、「ピッピッ、ピッピッ、ピッピッ…」と警告音が10回鳴ってお知らせします。
- 水タンクの水が水位表示の「MIN」を下回ったら給水をしてください。そのまま使用し続けて水を吸えなくなる水位まで低下すると、『涼風/加湿』ランプが消灯し、「ピッピッ、ピッピッ、ピッピッ…」と警告音が10回鳴ってお知らせします。



メモ 加湿モードの加湿方式は気化式のためミストは出ません。

お手入れと保管方法

警告



必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

注意

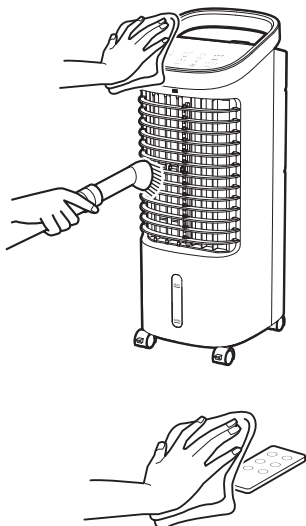


必ず守る

- 本機の性能を維持するため、2週間に1回は送風口や吸気口、フィルターのお手入れを行ってください。
- 長期間使用しない場合はお手入れ（排水含む）をしたあと、送風運転や乾燥モードを使用して、吸水フィルターや本体の内部を乾かしてください。
雑菌やカビの発生を防ぎます。

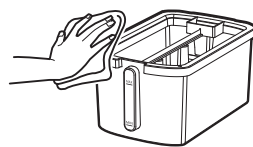
■ 本体、リモコンのお手入れ

- ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。
乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをして十分に乾かしてください。
 - お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - リモコンのボタン電池は取り外してください。
- ルーバーのすき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。



■ 水タンクのお手入れ

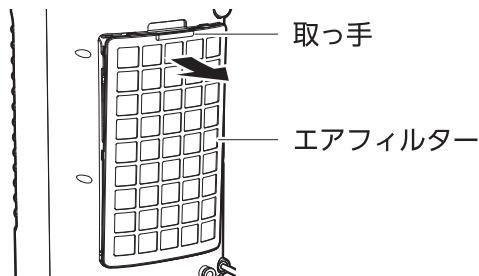
長期間使用しない場合は排水したあと、本体と同様のお手入れをしてください。
続けて使用する場合は、2~3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔にしてください。



■ 吸気口、フィルターのお手入れ

エアフィルターと吸水フィルターを取り外してお手入れをしてください。

- ① エアフィルターの取っ手に指先を掛けて手前に引き、エアフィルターを取り外します。

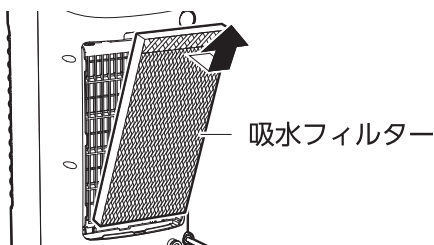


エアフィルターのお手入れ

付着したホコリを掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどい場合は、本体と同様のお手入れをしてください。

点検・修理

- ② 吸水フィルターを本体から取り外します。
- ・上側を手前に倒してから引き抜いてください。
 - ・涼風モード運転後は、吸水フィルターに水がたまっています。しばらくたってから取り外すか、浴室など濡れてもよい場所で取り外してください。



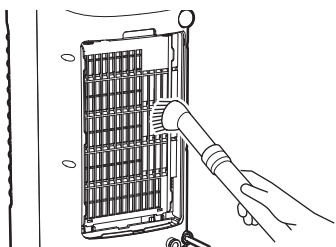
吸水フィルターのお手入れ

水洗い後、陰干しするか、乾燥モードを使用し十分に乾かしてください。

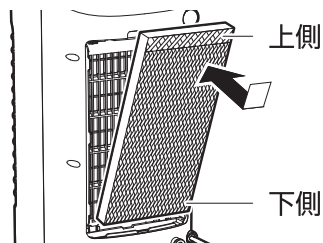
- ③ 吸気口のお手入れをします。

吸気口のお手入れ

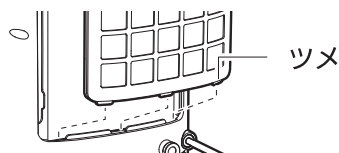
すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。



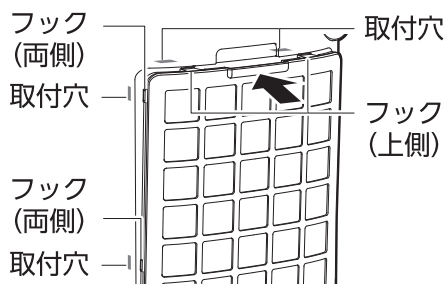
- ④ 吸水フィルターを本体に取り付けます。
- 吸水フィルターを図の向きにして下側を差し入れたあと、上側を押さえて取り付けてください。



- ⑤ エアフィルターを本体に取り付けます。
- a. 下側のツメ (3か所) を引っ掛けてください。

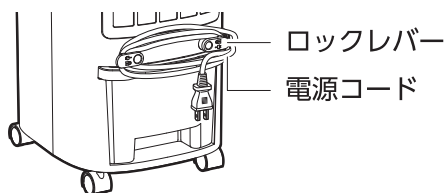


- b. エアフィルターを押さえ、上側 (2か所) と両側のフック (片側2か所ずつ) を取付穴に引っ掛けてください。



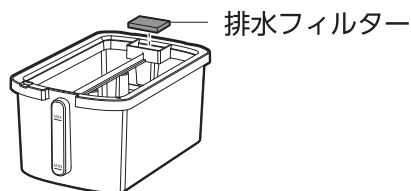
電源コードの収納

ロックレバーを外側に起こして、電源コードを巻き付けてください。



排水フィルターのお手入れ

水タンクから排水フィルターを取り外し、水洗いをしてください。



保管方法

- ・お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- ・リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- ・本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

製品や保冷タンクの廃棄について

製品や保冷タンクの廃棄の方法については、各地方自治体の指導に従ってください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押して運転を開始してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を「OFF」にするか設定を変更してください。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の入れかた(+/-)が間違っている。 本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。 本体とリモコンとの距離が離れている。 本体の受信部とリモコンの送信部が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 操作距離は直線で約5mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
操作していないのに風量が切り替わったり、風が止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> 自然風モード、おやすみモード、節電モード、温度設定で運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然風モード、おやすみモード、節電モード、温度設定での運転中は自動的に風量が切り替わったり、風が止まったりします。異常や故障ではありません。
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 『ヒーター』ランプと『温度設定』ランプが点滅している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体の周囲温度が設定温度以上になると、『ヒーター』ランプ『温度設定』ランプが点滅して運転を停止します。温度設定の温度を変更するか、解除してください。
涼風/加湿モードにするとブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水が無くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクに給水してください。
臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク内の水を取り替えていない。 送風口や吸気口、フィルターなどが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク内の水は2～3日を目安に新しい水と入れ替え、内部のお手入れをしてください。 送風口や吸気口、フィルターなどの汚れのお手入れをしてください。
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 本体が傾いて設置されている。 本体が傾いた状態で移動した。 水タンク内の水量が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。 水タンク内の水量を適正な状態にしてください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。